特定非営利活動法人共同保存図書館・多摩　２０１９年度通常総会　報告

日時：２０１９年5月１９日　１４時から１５時まで
会場：東京都国分寺労政会館　３階　第３会議室

司会：齊藤誠一（事務局次長）

１　理事長挨拶

設立から１２回目の総会となりました。

各自治体の切迫した書庫状況を少しでも身軽にできればとリアルな共同保存図書館を目指してスタートしたが、実現は非常に難しく今に至っている。そんな中で、何とか有効な手立てはないかとＴＡＭＡＬＡＳを開発し、各図書館に提供を始めている。各自治体ではこれの活用により、最低１～２冊は残そうという動きも出てきてはいるが、一方でそれが許されないような実情もあることをお伝えしておく。

直近の「多摩デポ通信　５０号」で、本法人は大変な経済状況の中で運営していることを訴えたところ、会員の皆さんから素早く反応をしていただき、皆さまの力に支えられて維持できていると痛感している。そのご厚意に応えなければと思いを新たにしている。

２　総会成立（定足数）の確認

正会員総数：８５（個人８３名、団体２団体）
定足数（正会員総数×１÷２）：４３
立候補者なし。事務局に一任。座間直壯氏を選出。

出席者２４、委任状出席４０、合計６４で定足数を満たしており、総会は成立。

３　議長の選出

立候補者なし。事務局に一任。座間直壯氏を選出。

４　議長挨拶

正面に掲示してある「次第」により進めていきたいので、議事進行に協力を願う。

５　書記の選出

議長の指名により、雨谷逸枝氏（事務局）を選出。

６　議事

（1）第一号議案　２０１８年度事業報告承認について

説明（堀　渡　事務局長）

※議案書（事前に郵送配布）に沿って説明

・バーチャルな共同保存図書館の面では、多摩の全自治体を対象にＴＡＭＡＬＡＳ個別処理システムの活用実態について調査を行い、先日その結果を東京都市町村立図書館長協議会館長会で配布していただいた。今後、多摩デポのホームページでも報告を掲載する予定。自治体によって利用状況に差があるが、認知され使われていることは確かで、「除籍の際に他館の状況を調べる」という意識は浸透しつつある。
・リアル共同保存図書館については、小規模でも始めたかったが具体化はできていない。
・図書館資料の里親探しについては、８件（７９冊）の募集に対し、２件（１２冊）成立。
・ブックレットは、２０１７年度総会時の永江朗氏講演を第１２号として、第３３回多摩デポ講座（寺田芳朗氏）を第１３号として発行した。２０１８年度総会での塩見昇氏の講演

は、現在ブックレット化を進めている。
・多摩デポ講座には、見学会を含め会員外の参加者も毎回あり、拡がりを感じられた。
・「多摩デポ通信」は、第４６～４９号を発行した。
・Ｙａｈｏｏ！ジオシティーズの業務終了に伴うホームページの移行作業は問題なく完了。セキュリティを高めるためにＳＳＬ設定を施した。

質疑　なし
採決　拍手多数（承認）

（2）第二号議案　２０１８年度決算報告及び監査報告承認について
説明（田中ヒロ　会計）
※議案書に沿って説明。
・会費は、健康上の理由などによる会員減が響き、収入減となっている。
・年度末に予期せぬ大口の寄付があったため、一息つけたが、財政事情の苦しさは継続している。
・ブックレット第１２号の売れ行きが通常に比べ良好のため、事業収益が例年より多くなった。ブックレットの経費については、事業費・管理費とも販売・配布など実際に動きがあった冊数について計上することになっている。動きの詳細は別途管理している。
・事業費の会議費は主にカーリルとの定例会会場費、管理費の会議費は主に理事会の会場費。
・Ｙａｈｏｏ！ジオシティーズの業務終了に伴い、さくらインターネットのレンタルサーバーを利用することになったため、初回振込手数料が必要となった。
・「多摩デポ通信」の用紙のランクを少し下げて、経費節約に努めた。

監査報告（浴靖子　監事、山崎明子　監事）
浴監事より「いずれも適法かつ妥当と認める」と報告。

質疑　なし
採決　拍手多数（承認）

（3）第三号議案　２０１９年度事業計画決定について
説明（堀　渡　事務局長）
※議案書に沿って説明
・この間の経過や館長協議会の動きは、第一号議案で説明したように、一年前とほぼ同じ状況のまま推移している。したがって、方針も昨年度とほぼ同じ。
・ＴＡＭＡＬＡＳ及びＴＡＭＡＬＡＳ一括処理システムは、活用実態調査の結果からもわかるように、認知はされてきている。今後は、使ってもらうためのアプローチをしっかり積み上げていくことが課題だと考えている。書庫本の見直しをするためにＴＡＭＡＬＡＳ一括処理システムは魅力的だと利用申請をしてくれた自治体もある。書庫点検の武器として利用されることにより、リアルな共同保存図書館の実現に向かえることを期待している。今年度は、引き続きＩＳＢＮなし資料の機械的な同定識別の可能性の研究を(株)カーリルとともに進めていく。
・ブックレットについては、昨年度の総会記念講演（塩見昇氏）を第１４号として発行する予定。
・「東京都多摩地域公立図書館大会」等の集会やイベントには、多摩デポのテーマと合致すれば積極的に参加する。
・館長協議会が発足させた除籍実務担当者会に引き続き注目し、協力や連携を探っていく。
・ホームページは、スマホ対応を含め、新サイト構築を準備・実行する。

・漸減傾向にある会員については、特に現役世代や館長協議会での理解者の増加を目指していく。

質疑　なし
採決　拍手多数（承認）

（4）第四号議案　２０１９年度活動予算決定について
説明（田中ヒロ　会計）
※議案書に沿って説明
・経常収益は会員数の増加及び寄付金を２０１８年度より多めに見込んだ額とした。事業での収益の増にも努める。
・支出では、通信運搬費・支払手数料をはじめ、諸費値上げを見込んで管理費を増額している。ブックレットについては、初号から維持してきた価格の値上げに踏み切ることとした。

質疑　なし
採決　拍手多数（承認）

（5）第五号議案　定款の変更について
説明（堀　渡　事務局長）
東京都から軽微な修正を促されている事項を中心に提案する。本法人の性格や事業・運営方法の変更はない。
議案書１６から１９ページの新旧対照表に示したとおり変更を行いたい。主に役員の任期に関わる規程の明確化、登記簿上で新字に変更された文字に合わせるための修正、総会の議事録への電磁的表決参加者数の記載である。

質疑　なし
採決　拍手多数（承認）

（6）第六号議案　任期満了に伴う役員の改選について
説明（堀　渡　事務局長）
役員の任期は２年間であり、今年度は新役員の選任が必要。
矢崎省三氏が退任し、他の理事及び監事は再任とする。

質疑　なし
採決　拍手多数（承認）

７　議事録署名人の選出
議長の指名により、江森隆子氏と吉田光美氏の選出を拍手多数で承認。

８　議長及び書記の解任

９　閉会

以上